

新任労働基準監督官及び若手労働基準監督官の 研修・実地訓練の様子をご紹介します！

埼玉県での中央研修が終わると、それぞれの配属先の労働局で実地訓練が始まります。栃木労働局では、新任労働基準監督や採用から概ね2～5年目の若手労働基準監督官に対し、近隣の群馬労働局や茨城労働局とも連携しながら、特殊な分野についても必要な研修や実地訓練を実施しています。令和6年度においてもさまざまな研修・訓練を実施しましたので、その様子をご紹介します。

R6.4.24 大規模工場研修

建設機械メーカーにおける災害防止への取組を見学しました。



建設機械の運転シミュレーターも体験しました。

R6.5.30 化学物質研修



健康安全課衛生専門官より、学生時代に化学を専攻していない若手でも理解しやすいよう説明していただきました。

R6.6.7 実況見分実技研修



庁舎2階から墜落事故が発生したと見立てて、模擬演習を行いました。



R6.10.29 実況見分、被疑者取調研修

茨城局・群馬局と合同でワークショップも行いました。



R6.11.7 大規模工事現場見学



某テレビ番組でも取り上げられていた現場です。高さ約70mの巨大な岩を10年以上かけて解体します。

R6.11.11 第3回若手労働基準監督官研修



いじめ・嫌がらせや各種ハラスメント等民事の絡む事案やフリーランス等法適用に慎重な判断が求められる事案が増えている傾向を踏まえ弁護士の方から、専門的見地から見た労働法規についてご講話をいただきました。



併せて、警部補任用研修を受講した主任監督官の経験について、若手監督官に伝達いただきました。

R6.11.13 キャリアデザイン研修



栃木労働局総務課主催の研修です。今後のキャリア形成を改めて考える貴重な場となりました。

R6.12.12 令和6年度新任労働基準監督官林業実地訓練研修



伐木・搬出作業を見学しました。



伐木作業に用いる道具を確認しています。



伐倒後の切り株です。

R7.1.14 ずい道工事実地訓練研修



直径5.5mの掘削機械（シルドマシン）を見学しました。



立坑を地下30mまで下りていきます。



R7.1.16 令和6年度関東4局若手監督官司法実務研修

栃木局、群馬局、埼玉局、茨城局の4局が司法処理の事例発表をオンラインで行いました。



栃木局所属の監督官の発表です。



荷役運搬作業で頻りに用いるフォークリフトを見学しています。



R7.1.17 陸上貨物運送業・荷役作業実地訓練研修



普段見ることのないフォークリフトの内部構造も確認させていただきました。

R7.1.21 産業機械実地訓練研修

栃木県立県央産業技術専門校にて、動力プレスや金属加工用機械、木材加工用機械等を用いた作業時の安全対策等について学びました。



電気工事等における感電防止用保護具です。



丸のこ盤、帯のこ盤、動力プレス等、重篤な労働災害に繋がる機械を見学しました。



機械制御で物体を自動で加工できる機械ですが、扉の開閉時の怪我も発生しやすいです。



R7.1.29 司法研修

司法処理の実務上のテクニックや労働事件の裁判例、有罪確定に必要な立証の程度、構成要件、取調べ・送致時の留意点等について、検察官からご講義いただきました。

R7.3.4 第4回若手労働基準監督官研修

これまでの研修の集大成として、採用2年目の若手労働基準監督官が、運送業(トラック)や運送業(バス)、化学物質取扱事業場・建設業の事業場の労務管理担当者に対して説明を行うことを想定し、模擬集団指導を行いました。

